



MacBook Air 13インチ Mid 2012 マイクロフォンの交換

破損したマイクロフォンを交換するための修理ガイドです。

作成者: Andrew Optimus Goldheart



はじめに

破損したマイクロフォンを交換するための修理ガイドです。

🔧 ツール:

MacBook Air 星形ペンタローブネジ用ドライバ (1)
スパッジャー (1)
T5トルクスドライバー (1)

⚙️ 部品:

MacBook Air 13" (Mid 2012)
Microphone (1)

手順 1 — 下部ケース



❗ 作業を始める前に、MacBookの電源を落として下さい。ディスプレイを閉じ柔らかい表面の上に置いてください。

- [P5ペンタローブドライバー](#)を使って、下部ケースをはずしてください。ネジは次の長さに分かれます。
 - 9mm ネジ 2本
 - 2.6mm ネジ 8本

手順 2



- ディスプレイと下部ケースの間に指を入れ、上に引っ張って下部ケースを本体から外します。
- 下部ケースを取り外して脇に置きます。

手順 3 — バッテリー

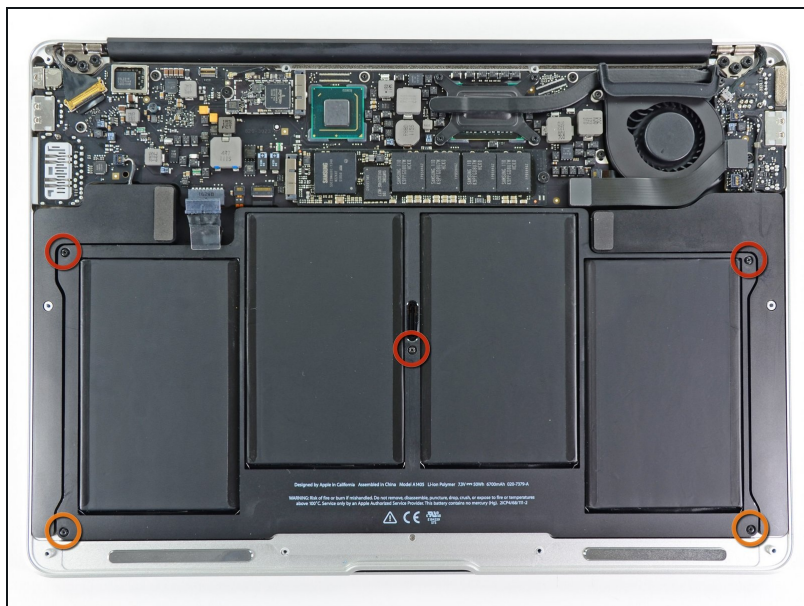


- バッテリーコネクタに付けられている透明なプラスチックのプルタブを掴みAir本体の前側に向かって引き基盤からバッテリーを切り離します。

⚠ 切り離す際にコネクタを上方に持ち上げないで下さい。

- 新しいバッテリーを再装着する際、バッテリーをフレームに入れる前に一時的に接続し直すと便利場合があります。コネクタが基板に対して平らになっていることを確認してください。

手順 4



- バッテリーを上部ケースに固定している以下の5本のネジを外します：
- 6.3 mm T5トルクスねじ 3本
- 2.4 mm T5トルクスねじ 2本

手順 5



⚠ バッテリーを取り外す時は、露出している4つのリチウムポリマー電池部分を、握ったり触ったりしないでください。

- バッテリーをロジックボードに近い上端から持ち上げ、上部ケースから取り外します。

☑ もし交換用のバッテリー上に薄いプラスチックのフィルムが付いている場合は、これを外さないでください。MacBookも内側につけられている間、バッテリーパックを保護する役割があります。

☑ この修理ガイドを完成したら、新しく装着したバッテリーのカリブレーションを行なってください。

- 100%になるまで充電します。充電後も最低2時間はプラグを繋げたままにします。それからプラグを外して、通常通り使用しながら、自然に放電させます。バッテリー残量小のサインが表示されたら、これまでの作業を保存して、スリープ状態になるまで放置してください。スリープ状態に入ったら、少なくとも5時間置きます。それから一気に100%まで充電します。
- 新しいバッテリーを装着後、通常通り作動しない場合は、MacBook ProのSMCをリセットしなければならない可能性があります。

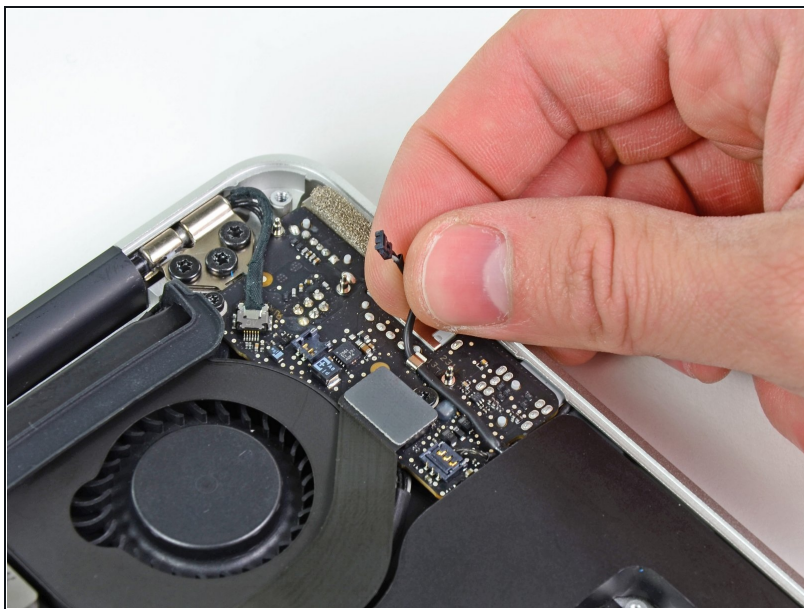
手順 6 — 左側スピーカー



- スパッジャーの平面側先端を使って、I/Oボード上のソケットから左側スピーカーケーブルコネクタをこじ開けて、接続を外します。

① ワイヤの下からこじ開けます。

手順 7



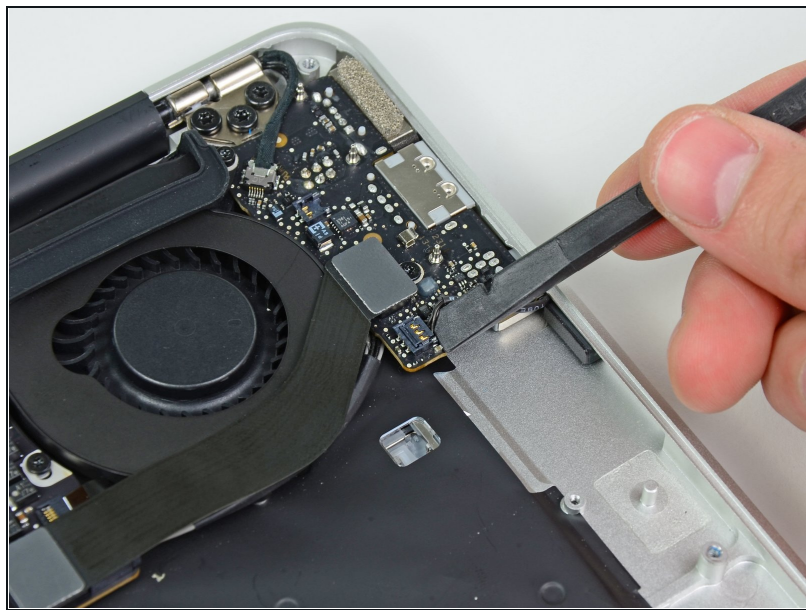
- I/Oボード上の固定クリップから左側スピーカーのケーブルを解放します。

手順 8



- スパッジャーの平面側先端を使って、上部ケースに左側スピーカーを固定している接着剤を剥がします。
- 上部ケースから左側スピーカーを取り出します。

手順 9 — マイク



- スパッジャーの先端を使って、I/Oボード上のソケットからマイクコネクタをこじ開けます。

手順 10



- スパッジャーの先端を使って、上部ケースの左側にマイクを固定している接着剤を剥がします。
- 上部ケースからマイクを取り出します。

デバイスを再組立する際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。